

注3

大学番号：246

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科・作業療法学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 森ノ宮医療学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務室

職名・氏名 シツチョウ セガワ トシミ
室長 瀬川 敏未

電話番号 06-6616-6911

（夜間） 06-6616-6911

F A X 06-6616-6912

e-mail soumu@morinomiya-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	29

＜作業療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	37
3. 施設・設備の整備状況、経費	49
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	53
6. 留意事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	71

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 森ノ宮医療学園

(2) 大 学 名

森ノ宮医療大学

(3) 大学の位置

〒559-8611

大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シミズ ナオミチ) 清水 尚道 (平成25年4月1日)		
学 長	(オギハラ トシオ) 荻原 俊男 (平成23年4月1日)		
学 部 長	(アオキ モトクニ) 青木 元邦 (平成25年4月1日)		
学科長等	(ウエダ マキコ) 上田 真喜子 (平成28年4月1日)	(ワキ ヒデヒコ) 脇 英彦 (平成30年4月1日) (30)	設置時の学科長は臨床検査技師 資格未保有者であったが、資格 保有者に変更することにより、 教育効果の向上を図るため (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 臨床検査学科 学士(臨床検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	-	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 60 (-) [-]	人 (-) [-]	人 60 (-) [-]	人 (-) [-]	人 60 (-) [-]	人 (-) [-]	1.2倍	
志願者数	() []	() []	421 (-) [-]	- (-) [-]	577 (-) [-]	- (-) [-]	490 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	407 (-) [-]	- (-) [-]	560 (-) [-]	- (-) [-]	483 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	122 (-) [-]	- (-) [-]	122 (-) [-]	- (-) [-]	129 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	72 (-) [-]	- (-) [-]	72 (-) [-]	- (-) [-]	72 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.2		1.2		1.2			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次		[] ()	[] ()	72 [-] (-)	- [-] (-)	72 [-] (-)	- [-] (-)	72 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次				- [-] (-)	- [-] (-)	72 [-] (-)	- [-] (-)	72 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次								- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次										
計						72	144			
		[]		[-]		[-]		[-]		
		()		(-)		(-)		(-)		

- (注) *
- 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	72 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	72 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	72 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計	216 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
- （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			6			3		1
	物理学	1後		2							1
	生物学	1前	2								1
	情報処理	1前	2								1
	心理学	1前		2							1
	生命倫理学	1後	2								1
	哲学・宗教学	1後		2							1
	社会福祉学	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	統計学	1後	2								1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	医学英語Ⅰ	2前		2							2
	医学英語Ⅱ	2後		2							2
	英会話Ⅰ	2前		2							2
	英会話Ⅱ	2後		2							2
学部共通科目群	スポーツ健康科学演習	1前	2								3
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	東洋思想史	1前		2							1
	生化学	1前	2			1					1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	チーム医療とコミュニケーション	2後	2			1					1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2							1
	漢方医学概論	2後		2							1
学科専門科目群	統合医療概論	3前		2							4
	人体の構造Ⅰ	1前	2								1
	人体の構造Ⅱ	1後	2								1
	人体の構造実習	1後	1			1					1
	人体の機能Ⅰ	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ	1後	2								1
	生化学各論	1後	2			1					1
	生化学実習	2前	1			1			1		1
	分析化学	1後		2		1					1
	小児医学	2前		2		1					1
	老年医学	2前		2		1					1
	救急災害医学	2前		2							1
	薬理学	2後		2		1					1
	リハビリテーション概論	3前		2							1
	臨床検査学総論	1前	2			3					1
	検査技術科学序論	1後	2			6			3		1
	病理学	1後	2			1					1
	医学概論	1前	2			2					1
	公衆衛生学	1前	2			1					1
	IPW論	3前	1			1					5
	医用工学概論	2前	2								1
	医用工学実習	2前	1								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			6		1	2		1
	物理学	1後		2							1
	生物学	1前	2								1
	情報処理	1前	2								1
	心理学	1前		2							1
	生命倫理学	1後	2								1
	哲学・宗教学	1後		2							1
	社会福祉学	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	統計学	1後	2								1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	医学英語Ⅰ	2前		2							1
	医学英語Ⅱ	2後		2							1
	英会話Ⅰ	2前		2							1
	英会話Ⅱ	2後		2							1
学部共通科目群	スポーツ健康科学演習	1前	2								7
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	東洋思想史	1前		2							1
	生化学	1前	2			1					1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	チーム医療とコミュニケーション	2後	2			1					1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2							1
	漢方医学概論	2後		2							1
学科専門科目群	統合医療概論	3前		2							3
	人体の構造Ⅰ	1前	2								1
	人体の構造Ⅱ	1後	2								1
	人体の構造実習	1後	1			1					1
	人体の機能Ⅰ	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ	1後	2								1
	生化学各論	1後	2			1					1
	生化学実習	2前	1			1			1		1
	分析化学	1後		2		1					1
	小児医学	2前		2		1					1
	老年医学	2前		2		1					1
	救急災害医学	2前		2							1
	薬理学	2後		2		1					1
	リハビリテーション概論	3前		2							1
	臨床検査学総論	1前	2			3					1
	検査技術科学序論	1後	2			6		1	2		1
	病理学	2前	2			1					1
	医学概論	1前	2			2					1
	公衆衛生学	1前	2			1					1
	IPW論	3前	1			1					5
	医用工学概論	2前	2								1
	医用工学実習	2前	1								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
	血液検査学Ⅰ	2前	2							1	
	血液検査学Ⅱ	2後	2							1	
	血液検査学実習	3前	1						1		1
	病理検査学	3前	2			1					
	病理検査学実習	3前	1			1			1		
	一般検査学	2前	1						1		
	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床化学検査学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床化学検査学実習	3前	1			1			1		
	放射性同位元素検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学	2後	2			1					
	遺伝子検査学実習	3前	1			1			1		
	バイオテクノロジー演習	3前	1			1					
	微生物検査学Ⅰ	1後	2								1
	微生物検査学Ⅱ	2前	2								1
	微生物検査学実習	2後	1						1		1
	寄生虫検査学	3前	1						1		1
	免疫検査学Ⅰ	2前	2			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	2			1					
	免疫検査学実習	3前	1			1			1		
	輸血・移植検査学	2後	2								1
	輸血・移植検査学実習	3前	1						1		1
	生理機能検査学Ⅰ	1後	2			2					
	生理機能検査学Ⅱ	2前	2			2					
	生理機能検査学Ⅲ	2前	2			2					
	生理機能検査学実習	2後	1			2			2		
	画像検査学	2後	2			2					
	超音波検査学Ⅰ	3前	1			2			2		
	超音波検査学Ⅱ	3前	1			2			2		
	検査総合管理学	3前	2			1					
	医療情報科学	3後	2			1					
	関係法規	3後	1			1					
	医療安全管理学	2後	1			1					
	臨床薬理学	3前		2		1					
	食品衛生学	3後		1		1					1
	食品関係法規	3後		1		1					1
	総合演習Ⅰ	4通	2			6			3		
	総合演習Ⅱ	4通	2			6			3		
	総合演習Ⅲ	4通	2			6			3		
	卒業研究Ⅰ	3通	2			6			3		
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6			3		
	臨地実習	3後	7			6			3		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
	血液検査学Ⅰ	2前	2					1			1
	血液検査学Ⅱ	2後	2					1			1
	血液検査学実習	3前	1					1			1
	病理検査学	3前	2			1					
	病理検査学実習	3前	1			1			1		
	一般検査学	2前	1			2			1		
	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床化学検査学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床化学検査学実習	3前	1			1			1		
	放射性同位元素検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学	2後	2			1					
	遺伝子検査学実習	3前	1			1			1		
	バイオテクノロジー演習	3前	1			1					
	微生物検査学Ⅰ	1後	2								1
	微生物検査学Ⅱ	2前	2								1
	微生物検査学実習	2後	1						1		1
	寄生虫検査学	3前	1						1		1
	免疫検査学Ⅰ	2前	2			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	2			1					
	免疫検査学実習	3前	1			1		1			
	輸血・移植検査学	2後	2								1
	輸血・移植検査学実習	3前	1						1		1
	生理機能検査学Ⅰ	1後	2			2					
	生理機能検査学Ⅱ	2前	2			2					
	生理機能検査学Ⅲ	2前	2			2					
	生理機能検査学実習	2後	1			2		1	1		
	画像検査学	2後	2			2					
	超音波検査学Ⅰ	3前	1			2		1	1		
	超音波検査学Ⅱ	3前	1			2		1	1		
	検査総合管理学	3前	2			2					
	医療情報科学	3後	2			1					
	関係法規	3後	1			1					
	医療安全管理学	2後	1			1					
	臨床薬理学	3前		2		1					
	食品衛生学	3後		1							1
	食品関係法規	3後		1		1					
	総合演習Ⅰ	4通	2			6			3		
	総合演習Ⅱ	4通	2			6			3		
	総合演習Ⅲ	4通	2			6			3		
	卒業研究Ⅰ	3通	2			6		1	2		
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6			3		
	臨地実習	3後	7			6		1	2		

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目 群	基礎ゼミナール	1前	2			6			3		1
	物理学	1後		2							1
	生物学	1前	2								1
	情報処理	1前	2								1
	心理学	1前		2							1
	生命倫理学	1後	2								1
	哲学・宗教学	1後		2							1
	社会福祉学	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	統計学	1後	2								1
	英語Ⅰ（初級）	1前	2								2
	英語Ⅱ（中級）	1後	2								2
	医学英語Ⅰ	2前		2							2
	医学英語Ⅱ	2後		2							2
学 部 共 通 科 目 群	英会話Ⅰ	2前		2							2
	英会話Ⅱ	2後		2							2
	スポーツ健康科学演習	1前	2								7
	健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前		2							1
	東洋思想史	1前		2							1
	生化学	1前	2			1					
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	チーム医療とコミュニケーション	2後	2			1					1
	栄養学	2後		2							1
学 科 専 門 科 目 群	身体運動科学	2後		2							1
	漢方医学概論	2後		2							1
	統合医療概論	3前		2							4
	人体の構造Ⅰ	1前	2								1
	人体の構造Ⅱ	1後	2								1
	人体の構造実習	1後	1			1					
	人体の機能Ⅰ	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ	1後	2								1
	生化学各論	1後	2			1					
	生化学実習	2前	1			1			1		
	分析化学	1後		2		1					
	小児医学	2前		2		1					
	老年医学	2前		2		1					
	救急災害医学	2前		2							1
	薬理学	2後		2		1					
	リハビリテーション概論	3前		2							1
	臨床検査学総論	1前	2			3					
	検査技術科学序論	1後	2			6			3		
	病理学	2前	2			1					
	医学概論	1前	2			2					
	公衆衛生学	1前	2			1					
	IPW論	3前		1		1					1
	医用工学概論	2前	2								1
	医用工学実習	2前	1								

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			6			3		1
	物理学	1後		2							1
	生物学	1前	2								1
	情報処理	1前	2								1
	心理学	1前		2							1
	生命倫理学	1後	2								1
	哲学・宗教学	1後		2							1
	社会福祉学	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	統計学	1後	2								1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	医学英語Ⅰ	2前		2							2
	医学英語Ⅱ	2後		2							1
英会話Ⅰ	2前		2							2	
英会話Ⅱ	2後		2							1	
学部共通科目群	スポーツ健康科学演習	1前	2								7
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	東洋思想史	1前		2							1
	生化学	1前	2			1					
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	チーム医療とコミュニケーション	2後	2			1					1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2							1
	漢方医学概論	2後		2							1
統合医療概論	3前		2							4	
学科専門科目群	人体の構造Ⅰ	1前	2								1
	人体の構造Ⅱ	1後	2								1
	人体の構造実習	1後	1			1					
	人体の機能Ⅰ	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ	1後	2								1
	生化学各論	1後	2			1					
	生化学実習	2前	1			1			1		
	分析化学	1後		2		1					
	小児医学	2前		2		1					
	老年医学	2前		2		1					
	救急災害医学	2前		2							1
	薬理学	2後		2		1					
	リハビリテーション概論	3前		2							1
	臨床検査学総論	1前	2			3					
	検査技術科学序論	1後	2			6			3		
	病理学	2前	2			1					
	医学概論	1前	2			2					
公衆衛生学	1前	2			1						
IPW論	3前	1			1					1	
医用工学概論	2前	2								1	
医用工学実習	2前	1								1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	教 授	師	教	手		
学 科 専 門 科 目 群	臨床病態学Ⅰ	2前	2			1						
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			1						
	血液検査学Ⅰ	2前	2									1
	血液検査学Ⅱ	2後	2									1
	血液検査学実習	3前	1						1			1
	病理検査学	3前	2			1						
	病理検査学実習	3前	1			1			1			
	一般検査学	2前	1						1			
	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			1						
	臨床化学検査学Ⅱ	2後	2			1						
	臨床化学検査学実習	3前	1			1			1			
	放射性同位元素検査学	2前	1			1						
	遺伝子検査学	2後	2			1						
	遺伝子検査学実習	3前	1			1			1			
	バイオテクノロジー演習	3前	1			1						
	微生物検査学Ⅰ	1後	2									1
	微生物検査学Ⅱ	2前	2									1
	微生物検査学実習	2後	1						1			1
	寄生虫検査学	3前	1						1			1
	免疫検査学Ⅰ	2前	2			1						
	免疫検査学Ⅱ	2後	2			1						
	免疫検査学実習	3前	1			1			1			
	輸血・移植検査学	2後	2									1
	輸血・移植検査学実習	3前	1						1			1
	生理機能検査学Ⅰ	1後	2				2					
	生理機能検査学Ⅱ	2前	2				2					
	生理機能検査学Ⅲ	2前	2				2					
	生理機能検査学実習	2後	1				2			2		
	画像検査学	2後	2				2					
	超音波検査学Ⅰ	3前	1				2			2		
	超音波検査学Ⅱ	3前	1				2			2		
	検査総合管理学	3前	2				1					
	医療情報科学	3後	2				1					
関係法規	3後	1				1						
医療安全管理学	2後	1				1						
臨床薬理学	3前		2			1						
食品衛生学	3後		1			1					1	
食品関係法規	3後		1			1					1	
総合演習Ⅰ	4通	2				6			3			
総合演習Ⅱ	4通	2				6			3			
総合演習Ⅲ	4通	2				6			3			
卒業研究Ⅰ	3通	2				6			3			
卒業研究Ⅱ	4通	2				6			3			
臨地実習	3後	7				6			3			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
	血液検査学Ⅰ	2前	2								1
	血液検査学Ⅱ	2後	2						1		1
	血液検査学実習	3前	1						1		1
	病理検査学	3前	2			1					
	病理検査学実習	3前	1			1			1		
	一般検査学	2前	1			2			1		
	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床化学検査学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床化学検査学実習	3前	1			1			1		
	放射性同位元素検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学	2後	2			1					
	遺伝子検査学実習	3前	1			1			1		
	バイオテクノロジー演習	3前	1			1					
	微生物検査学Ⅰ	1後	2								1
	微生物検査学Ⅱ	2前	2								1
	微生物検査学実習	2後	1						1		1
	寄生虫検査学	3前	1						1		1
	免疫検査学Ⅰ	2前	2			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	2			1					
	免疫検査学実習	3前	1			1			1		
	輸血・移植検査学	2後	2								1
	輸血・移植検査学実習	3前	1						1		1
	生理機能検査学Ⅰ	1後	2				2				
	生理機能検査学Ⅱ	2前	2				2				
	生理機能検査学Ⅲ	2前	2				2				
	生理機能検査学実習	2後	1				2			2	
	画像検査学	2後	2				2				
	超音波検査学Ⅰ	3前	1				2			2	
	超音波検査学Ⅱ	3前	1				2			2	
	検査総合管理学	3前	2				1				
	医療情報科学	3後	2				1				
	関係法規	3後	1				1				
医療安全管理学	2後	1				1					
臨床薬理学	3前		2			1					
食品衛生学	3後		1			1				1	
食品関係法規	3後		1			1				1	
総合演習Ⅰ	4通	2				6			3		
総合演習Ⅱ	4通	2				6			3		
総合演習Ⅲ	4通	2				6			3		
卒業研究Ⅰ	3通	2				6			3		
卒業研究Ⅱ	4通	2				6			3		
臨地実習	3後	7				6			3		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ健康科学演習」の担当教員を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「病理学」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。

【平成29年度】

- ・受講者が少ないため、「医学英語Ⅱ」の担当教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・受講者が少ないため、「英会話Ⅱ」の担当教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員退職による辞退のため、「血液検査学Ⅱ」の担当教員を別の兼任講師に変更および「助教1」を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「一般検査学」の担当教員に「教授2」を追加。

【平成30年度】

- ・職位変更のため、「基礎ゼミナール」の専任教員配置を「教授6・助教3」から「教授6・講師1・助教2」に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「統合医療概論」の担当教員を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・職位変更のため、「検査技術科学序論」の教員配置を「教授6・助教3」から「教授6・講師1・助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「IPW論」の担当教員を「教授1・兼1」から「教授1・兼5」に変更。
- ・担当教員退職による辞退のため、「血液検査学Ⅰ」の担当教員に「講師1」を追加。
- ・職位変更のため、「血液検査学Ⅱ」の専任教員配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・職位変更のため、「血液検査学実習」の専任教員配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・職位変更のため、「免疫検査学実習」の専任教員配置を「教授1・助教1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・職位変更のため、「生理機能検査学実習」の教員配置を「教授2・助教2」から「教授2・講師1・助教1」に変更。
- ・職位変更のため、「超音波検査学Ⅰ」の専任教員配置を「教授2・助教2」から「教授2・講師1・助教1」に変更。
- ・職位変更のため、「超音波検査学Ⅱ」の専任教員配置を「教授2・助教2」から「教授2・講師1・助教1」に変更。
- ・職位変更のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員配置を「教授6・助教3」から「教授6・講師1・助教2」に変更。
- ・職位変更のため、「臨地実習」の専任教員配置を「教授6・助教3」から「教授6・講師1・助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「検査総合管理学」の担当教員を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「食品衛生学」の担当教員を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「食品関係法規」の担当教員を「教授1・兼1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
69 科目	23 科目	0 科目	92 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	該当なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{\text{\#REF!}} = \text{\#REF!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	森ノ宮キャンパスの土地用途変更のため (29) 校舎設置 (30) 特例措置の認定により 運動場機能の代替措置 を講じる。特区No. 828 (大阪市) 土地購入のため (29) 用途変更 (30) 誤りがあったため修正 (30)			
	校 舎 敷 地	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡	㎡	㎡	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡				
	運動場用地	0 ㎡	㎡	㎡	0 ㎡				
	小 計	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡	㎡	㎡	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡				
	そ の 他	483.12㎡ 16,941.41㎡ 15070.34㎡	㎡	㎡	483.12㎡ 16,941.41㎡ 15070.34㎡				
	合 計	17,324.64㎡ 32,536.65㎡ 32936.65㎡	㎡	㎡	17,324.64㎡ 32,536.65㎡ 32936.65㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	誤りがあったため修正 (29) 新校舎設置 (30)			
		22,385.58 ㎡ (23492.99 ㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	22,385.58 ㎡ (23492.99 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	用途変更 (29) 用途変更 (30)		
		43 41 40 室	17 14 室	37 室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		個人研究室8室8人 共同研究室1室3人		
		保健医療学部 臨床検査学科			9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数	
	臨床検査学科	32,800 [1100] (28,500 [1,680])	264 [44] (420 [55])	15 [8] (19 [9])	850 (870)	1716 (1593)	101 (305)		
	計	32,800 [1100] (28,500 [1,680])	264 [44] (420 [55])	15 [8] (19 [9])	850 (870)	1716 (1593)	101 (305)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		1027.17㎡							
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				昨年度に誤りがあった ため修正 (29)	
		1323.22㎡							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費（運用コストを 含む）を含む。 29年度入学生より納付金額 変更のため、上段に28年度 入学生、下段に29年度以降 入学生の金額を記載 (29)	
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	250千円	250千円	図書購入費	1,391千円	1,161千円	1,273千円		
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	76,000千円	50,000千円	8,000千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次 (H28入学生) 1,780千円 (U29入学生) 1,830千円	第 2 年 次 1,530千円 1,580千円	第 3 年 次 1,530千円 1,580千円	第 4 年 次 1,530千円 1,580千円	第 5 年 次 — 千円	第 6 年 次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
森ノ宮医療大学									
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
鍼灸学科	4	60	—	240	学士 (鍼灸学)	1.11	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
理学療法学科	4	70	—	280	学士 (理学療法)	1.12	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
看護学科	4	90	—	360	学士 (看護学)	1.09	平成23年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査学)	1.20	平成28年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法)	1.27	平成28年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
臨床工学科	4	60	—	240	学士 (臨床工学)	1.16	平成30年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
大学院保健医療学研究科									
保健医療学専攻	2	6	—	12	修士 (保健医療学)	0.91	平成23年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
医療科学専攻	3	2	—	6	博士 (医療科学)	2.00	平成30年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は									
●●学科	2	100	—	200	短期大学士 (●●学)	1.00	平成3年度	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇…	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

＜保健医療学部 臨床検査学科＞

【認可時又は届出時】

- 15 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	脇 英彦 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 臨床検査学総論 検査技術科学序論 生理機能検査学Ⅰ 生理機能検査学Ⅱ 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習 画像検査学 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 検査総合管理学 関係法規 医療安全管理学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	教授	脇 英彦 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 臨床検査学総論 検査技術科学序論 生理機能検査学Ⅰ 生理機能検査学Ⅱ 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習 画像検査学 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 検査総合管理学 関係法規 医療安全管理学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	教授	脇 英彦 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 臨床検査学総論 検査技術科学序論 一般検査学 生理機能検査学Ⅰ 生理機能検査学Ⅱ 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習 画像検査学 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 検査総合管理学 関係法規 医療安全管理学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	教授 (学科長)	脇 英彦 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 臨床検査学総論 検査技術科学序論 一般検査学 生理機能検査学Ⅰ 生理機能検査学Ⅱ 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習 画像検査学 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 検査総合管理学 関係法規 医療安全管理学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	助教	佐伯 康匠 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 生化学実習 検査技術科学序論 遺伝子検査学実習 微生物検査学実習 寄生虫検査学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	助教	佐伯 康匠 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 生化学実習 検査技術科学序論 遺伝子検査学実習 微生物検査学実習 寄生虫検査学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	助教	佐伯 康匠 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 生化学実習 検査技術科学序論 遺伝子検査学実習 微生物検査学実習 寄生虫検査学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	助教	佐伯 康匠 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 生化学実習 検査技術科学序論 遺伝子検査学実習 微生物検査学実習 輸血・移植検査学実習 寄生虫検査学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	助教	藤原 牧子 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	助教	藤原 牧子 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	助教	藤原 牧子 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	講師	藤原 牧子 <平成28年4月> 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習 免疫検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 助教		小林 彩香 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
		青木 元邦 ＜平成29年4月＞ 救急災害医学
		金尾 顕郎 ＜平成30年4月＞ リハビリテーション概論
		山下 仁 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		井手口 範男 ＜平成28年4月＞ 情報処理 心理学 統計学
		宮本(盛尾) 忠吉 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
		中田 敬吾 ＜平成29年4月＞ 漢方医学概論
		鍋田 智之 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		北村 清一郎 ＜平成28年4月＞ 人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ
		永瀬 佳孝 ＜平成28年4月＞ 人体の機能Ⅰ 人体の機能Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 助教		小林 彩香 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
		青木 元邦 ＜平成29年4月＞ 救急災害医学
		金尾 顕郎 ＜平成30年4月＞ リハビリテーション概論
		山下 仁 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		井手口 範男 ＜平成28年4月＞ 情報処理 心理学 統計学
		宮本(盛尾) 忠吉 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
		中田 敬吾 ＜平成29年4月＞ 漢方医学概論
		鍋田 智之 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		北村 清一郎 ＜平成28年4月＞ 人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ
		森谷 正之 ＜平成28年4月＞ 人体の機能Ⅰ 人体の機能Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 助教		小林 彩香 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
		青木 元邦 ＜平成29年4月＞
		吉岡 敏治 ＜平成29年4月＞ 救急災害医学
		金尾 顕郎 ＜平成30年4月＞ リハビリテーション概論
		山下 仁 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		井手口 範男 ＜平成28年4月＞ 情報処理 心理学 統計学
		宮本(盛尾) 忠吉 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
		鍋田 智之 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		北村 清一郎 ＜平成28年4月＞ 人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 助教		小林 彩香 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 検査技術科学序論 血液検査学実習 免疫検査学実習 生理機能検査学実習 超音波検査学Ⅰ 超音波検査学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
		青木 元邦 ＜平成29年4月＞
		吉岡 敏治 ＜平成29年4月＞ 救急災害医学
		金尾 顕郎 ＜平成30年4月＞ リハビリテーション概論
		山下 仁 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
		井手口 範男 ＜平成28年4月＞ 情報処理 心理学 統計学
		宮本(盛尾) 忠吉 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
		北村 清一郎 ＜平成28年4月＞ 人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼担	准教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞ 生物学
兼担	准教授	榊井 靖之 ＜平成28年4月＞ 生命倫理学 哲学・宗教学 東洋思想史
兼担	准教授	藤重(中嶋) 仁子 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼担	准教授	中原 英博 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼担	准教授	前田 薫 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	准教授	森 美侑紀 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	講師	上田 真也 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習 健康科学(スポーツ社会学を含む)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞ 生物学
兼担	准教授	榊井 靖之 ＜平成28年4月＞ 生命倫理学 哲学・宗教学 東洋思想史
兼担	准教授	藤重(中嶋) 仁子 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼担	准教授	中原 英博 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼担	准教授	前田 薫 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	准教授	森 美侑紀 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	講師	上田 真也 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習 健康科学(スポーツ社会学を含む)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	五十嵐 淳介 ＜平成29年4月＞ 人体の機能Ⅰ 人体の機能Ⅱ
兼担	教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞ 生物学
兼担	教授	藤重(中嶋) 仁子 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼担	准教授	中原 英博 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼担	准教授	前田 薫 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	教授	森 美侑紀 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	講師	上田 真也 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習 健康科学(スポーツ社会学を含む)
兼担	助教	長尾 晋宏 ＜平成29年4月＞ 英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	五十嵐 淳介 ＜平成29年4月＞ 人体の機能Ⅰ 人体の機能Ⅱ
兼担	教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞ 生物学
兼担	教授	藤重(中嶋) 仁子 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼担	教授	中原 英博 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼担	准教授	増山 祥子 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	教授	森 美侑紀 ＜平成30年4月＞ 統合医療概論
兼担	助教	長尾 晋宏 ＜平成29年4月＞ 英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語Ⅰ
兼担	講師	佐野 加奈絵 ＜平成30年4月＞ スポーツ健康科学演習 健康科学(スポーツ社会学を含む)
兼担	助教	伊奈 新太郎 ＜平成30年4月＞ スポーツ健康科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成29年4月＞ 身体運動科学
兼任	講師	吉田 靖 ＜平成29年4月＞ 医用工学概論 医用工学実習
兼任	講師	阪田 光彦 ＜平成29年4月＞ 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習
兼任	講師	堀田 真希 ＜平成28年4月＞ 微生物検査学Ⅰ 微生物検査学Ⅱ 微生物検査学実習
兼任	講師	大西 義博 ＜平成30年4月＞ 寄生虫検査学
兼任	講師	押田 真知子 ＜平成29年4月＞ 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成29年4月＞ 身体運動科学
兼任	講師	吉田 靖 ＜平成29年4月＞ 医用工学概論 医用工学実習
兼任	講師	阪田 光彦 ＜平成29年4月＞ 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習
兼任	講師	木下 承皓 ＜平成28年4月＞ 微生物検査学Ⅰ 微生物検査学Ⅱ 微生物検査学実習
兼任	講師	大西 義博 ＜平成30年4月＞ 寄生虫検査学
兼任	講師	押田 真知子 ＜平成29年4月＞ 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習
兼任	講師	吉田 美智子 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	折田 真弓 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	濱口 幹太 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	辻・田 佳保里 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成29年4月＞ 身体運動科学
兼任	講師	吉田 靖 ＜平成29年4月＞ 医用工学概論 医用工学実習
兼任	講師	阪田 光彦 ＜平成29年4月＞ 血液検査学Ⅰ
兼任	講師	鳩宿 敏彦 ＜平成29年4月＞ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習
兼任	講師	木下 承皓 ＜平成28年4月＞ 微生物検査学Ⅰ 微生物検査学Ⅱ 微生物検査学実習
兼任	講師	大西 義博 ＜平成30年4月＞ 寄生虫検査学
兼任	講師	押田 真知子 ＜平成29年4月＞ 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習
兼任	講師	折田 真弓 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	濱口 幹太 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	辻・田 佳保里 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	伊藤 剛 ＜平成29年4月＞ スポーツ健康科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成29年4月＞ 身体運動科学
兼任	講師	吉田 靖 ＜平成29年4月＞ 医用工学概論 医用工学実習
兼任	講師	鳩宿 敏彦 ＜平成29年4月＞ 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習
兼任	講師	木下 承皓 ＜平成28年4月＞ 微生物検査学Ⅰ 微生物検査学Ⅱ 微生物検査学実習
兼任	講師	大西 義博 ＜平成30年4月＞ 寄生虫検査学
兼任	講師	押田 真知子 ＜平成29年4月＞ 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習
兼任	講師	折田 真弓 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	濱口 幹太 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	講師	伊藤 剛 ＜平成29年4月＞ スポーツ健康科学演習

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。

・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。

・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。

・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・安部辰夫准教授(兼担)が教授(兼担)に職位変更。
- ・永瀬佳孝教授(兼担)退職による辞退のため、「人体の機能Ⅰ」および「人体の機能Ⅱ」を森谷正之教授(兼担)に変更。
- ・高橋幸裕講師(兼任)退職による辞退のため、「社会福祉学」を志賀信夫講師(兼任)に変更。
- ・堀田真希講師(兼任)退職による辞退のため、「微生物検査学Ⅰ」および「微生物検査学Ⅱ」、「微生物検査学実習」を木下承祐講師(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ健康科学演習」に吉田美智子講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ健康科学演習」に折田真弓講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ健康科学演習」に濱口幹太講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ健康科学演習」に辻田佳保里講師(兼任)を追加。

【平成29年度】

- ・藤重(中嶋)仁子准教授(兼担)が教授(兼担)に職位変更。
- ・森美侑紀(瓜子)准教授(兼担)が教授(兼担)に職位変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「一般検査学」に脇英彦教授(専任)および小宮山恭弘教授(専任)を追加。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「救急災害医学」を青木元邦教授(兼担)から吉岡敏治教授(兼担)に変更。
- ・中田敬吾教授(兼担)辞退のため、「漢方医学概論」を生島忍講師(兼任)に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「人体の機能Ⅰ」および「人体の機能Ⅱ」を森谷正之教授(兼担)から五十嵐淳介教授(兼担)に変更。
- ・榊井靖之准教授(兼担)退職による辞退のため、「生命倫理学」を日高明講師(兼任)に変更。
- ・榊井靖之准教授(兼担)退職による辞退のため、「哲学・宗教学」を松枝啓至講師(兼任)に変更。
- ・榊井靖之准教授(兼担)退職による辞退のため、「東洋思想史」を重信あゆみ講師(兼任)に変更。
- ・佐藤浩子講師(兼任)退職による辞退のため、「英語Ⅰ(初級)」および「英語Ⅱ(中級)」、「医学英語Ⅰ」に長尾晋宏助教(兼担)に変更。
- ・佐藤浩子講師(兼任)退職による辞退のため、「英語Ⅰ(初級)」および「英語Ⅱ(中級)」を竹内恵子講師(兼任)に変更。
- ・阪田光彦講師(兼任)退職による辞退のため、「血液検査学Ⅰ」および「血液検査学実習」を鳩宿敏彦講師(兼任)に変更。
- ・阪田光彦講師(兼任)退職による辞退のため、「血液検査学Ⅱ」に藤原牧子助教(専任)を追加。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「スポーツ健康科学演習」を吉田美智子講師(兼任)から伊藤剛講師(兼任)に変更。

【平成30年度】

- ・学科長が上田真喜子教授(専任)から脇英彦教授(専任)に変更。
- ・藤原牧子助教(専任)が講師(専任)に職位変更。
- ・中原英博准教授(兼担)が教授(兼担)に職位変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「輸血・移植検査学実習」の担当者を藤原牧子講師(専任)から佐伯康匠助教(専任)に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、「統合医療概論」の担当者から鍋田智之教授(兼担)および前田薫准教授(兼担)を削除し、増山祥子准教授(兼担)を追加。
- ・上田真也講師(兼担)退職による辞退のため、「スポーツ健康科学演習」および「健康科学(スポーツ社会学を含む)」を佐野加奈絵講師(兼担)に変更。
- ・辻田佳保里講師(兼任)退職による辞退のため、「スポーツ健康科学演習」を伊奈新太郎助教(兼担)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「検査総合管理学」に竹岡啓子教授(専任)を追加。
- ・志賀信夫講師(兼任)退職による辞退のため、「社会福祉学」を掛川直之講師(兼担)に変更。
- ・阪田光彦講師(兼任)退職による辞退のため、「血液検査学Ⅰ」を鳩宿敏彦講師(兼任)に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
8	0	0	3	11	8	0	1	2	11	8	0	1	2	11
(8)	(0)	(0)	(3)	(11)						[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	3	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{11} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{3}{11} = \boxed{27.27} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由				
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{\#REF!} = \#REF! \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年9月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	本学の定年規程では、新学科の教員について完成年度末までの在籍を認めているため、定年年齢に達した教員を完成年度まで在籍させることとする。(平成28年度)
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月) 臨床検査学科	保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月) 作業療法学科	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月) 臨床検査学科	保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画に関する変更は特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

自己点検評価・FSD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度において12回実施した。

委員として法人本部長・研究科長・学部長・学科長もしくは代行できる者・共通教育部門より選出された者・学術研究委員会より選出された者・事務局長および事務局長を代行できる者・大学事務局各室長・総務室員・学長の指名する者で組織している。また理事長・学長が陪席している。

c 委員会の審議事項等

- ・平成28年度委員会事業報告（案）について
- ・森ノ宮医療大学ベストティーチャー賞実施要項について
- ・平成29年度前期授業アンケート・公開授業実施案について
- ・授業アンケート、公開授業アンケート用紙の改定について
- ・大学機関別認証評価における評価基準について
- ・平成28年度自己点検報告書作成について
- ・平成29年度前期授業アンケート回答状況について
- ・SDセミナー開催について
- ・授業アンケート実施科目について（臨床実習等）
- ・シラバスのチェック方法について
- ・平成29年度エビデンス集・データ編の進捗状況について
- ・自己点検評価書の進捗状況について
- ・平成29年度後期授業アンケートについて
- ・臨床実習科目のアンケート用紙について
- ・平成30年度 自己点検評価・FSD委員会 事業計画案について
- ・リフレクションペーパーについて
- ・授業アンケート結果学内公表資料について
- ・授業アンケート結果報告会資料（案）について

② 実施状況

a 実施内容

（平成29年度の実施内容）

- ・平成29年度自己点検評価書作成、および公開
- ・平成29年度自己点検に係るエビデンス集・データ編および公開の実施
- ・学内FSDセミナーの開催
- ・平成29年度授業評価アンケート・公開授業週間の実施
- ・大学院自己点検評価・FSD委員会の設置
- ・学外研修会・セミナー等の案内 等

b 実施方法

- ・教員全体に向けた授業評価アンケート結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体の公開授業週間のアンケート，その結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体に向けた学内FSDセミナーを開催 等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成29年度の授業評アンケートは、
前期（平成29年7月頃）に全学科・全学年延べ 74件（臨床検査学科 7件）
後期（平成29年12月頃）に全学科・全学年延べ 61件（臨床検査学科 9件）実施した。
- ・平成29年度の公開授業週間は、
前期（平成29年7月）に実施し，公開授業科目数 71科目，授業参観教職員数が延べ 366名、
後期（平成29年12月）に実施し，公開授業科目数 61科目，授業参観教職員数が延べ 484名参加した。
- ・FSDセミナーとして
平成29年4月20日「平成28年度後期リフレクションペーパー分析結果フィードバック会」 79名参加
平成29年11月16日「平成29年度 研究コンプライアンス研修会」 109名参加 （後日DVD受講者45名）
平成30年2月13日「デザインの考え方を活用した“伝え方”入門」 51名参加
平成30年3月8日「セクシャルハラスメントとは」 85名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員が授業評価アンケート結果を受けた授業改善のための対策を「リフレクションペーパー」としてまとめ、学長に提出し、チェックを受ける仕組みを構築している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年度においては前期（平成29年7月）、後期（平成29年12月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況，方法等

学生に対しては掲示板において授業アンケートの結果と教員側からのコメントをまとめたリフレクションペーパーの結果の公表を実施している。教職員に対しては授業アンケートの結果とリフレクションペーパーの一覧をフィードバック会で配布する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨を活かせるよう、学生募集と臨床検査学科開設の告知に努め、平成30年度においては入学者72名を受け入れ、設置計画どおり、教育研究は順調に推移実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成32年5月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成32年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

（ ☒ 有 ☐ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（ 平成30年6月1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 森ノ宮医療学園

(2) 大 学 名

森ノ宮医療大学

(3) 大学の位置

〒559-8611

大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シミズ ナオミチ) 清水 尚道 (平成25年4月1日)	(フリ ガ ナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(オギハラ トシオ) 荻原 俊男 (平成23年4月1日)		
学 部 長	(アオキ モトクニ) 青木 元邦 (平成25年4月1日)		
学科長等	(カナオ ケンロウ) 金尾 顕郎 (平成28年4月1日)	(コバヤシ キヨ) 小林 貴代 (平成30年4月1日)	設置時の学科長は理学療法士資格保有者であったが、作業療法士資格保有者に変更することにより、教育効果の向上をはかるため(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 作業療法学科 学士(作業療法学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	40人	年次-	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	40 () []	() []	40 () []	() []	40 () []	() []	1.27倍	
志願者数	() []	() []	244 () []	- () []	381 () []	- () []	305 () []	- () []		
受験者数	() []	() []	232 () []	- () []	367 () []	- () []	300 () []	- () []		
合格者数	() []	() []	89 () []	- () []	76 () []	- () []	71 () []	- () []		
B 入学者数	() []	() []	50 () []	- () []	50 () []	- () []	53 () []	- () []		
入学定員超過率 B/A			1.25		1.25		1.32			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[] ()	[] ()	50 [-] (-)	- [-] (-)	50 [-] (-)	- [-] (-)	53 [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次				- [-] (-)	- [-] (-)	47 [-] (-)	- [-] (-)	49 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次						- [-] (-)	- [-] (-)	42 [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次								- [-] (-)	- [-] (-)	
計								50 [-] (-)		97 [-] (-)

(注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	50 人	3 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	3 人	人	進路変更(3人)
平成29年度	50 人	6 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	5 人	人	進路変更(4人)、その他(1人)
			平成29年度	1 人	人	進路変更
平成30年度	53 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計	153 人	9 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{50} = \boxed{6} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{50} = \boxed{12} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 作業療法学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目 群	基礎ゼミナール	1前	2			4	1	1	2		1	
	物理学	1後		2							1	
	生物学	1前		2							1	
	情報処理	1前		2							1	
	心理学	1前	2								1	
	生命倫理学	1後	2								1	
	哲学・宗教学	1後		2							1	
	社会福祉学	1後	2								1	
	日本国憲法	1後		2							1	
	統計学	1後		2							1	
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2	
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2	
	医学英語Ⅰ	2前		2							2	
	医学英語Ⅱ	2後		2							2	
	英会話Ⅰ	2前		2							2	
英会話Ⅱ	2後		2							2		
学 部 共 通 科 目 群	スポーツ健康科学 演習	1前	2								3	
	健康科学(スポー ツ社会学を含む)	1前		2							1	
	東洋思想史	1前		2							1	
	生化学	2前		2							1	
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1	
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1	
	チーム医療とコミュ ニケーション	2後	2			1					1	
	栄養学	2後		2							1	
	身体運動科学	2後		2							1	
	漢方医学概論	2後	2								1	
	統合医療概論	3前	2								4	
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造演習 (運動器)	1通	2								1	
	人体の構造Ⅰ (循環・内臓)	1前	2								1	
	人体の構造Ⅱ (神経系)	1後	2								1	

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目 群	基礎ゼミナール	1前	2			5		3	1		1	
	物理学	1後		2							1	
	生物学	1前		2							1	
	情報処理	1前		2							1	
	心理学	1前	2								1	
	生命倫理学	1後	2								1	
	哲学・宗教学	1後		2							1	
	社会福祉学	1後	2								1	
	日本国憲法	1後		2							1	
	統計学	1後		2							1	
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2	
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2	
	医学英語Ⅰ	2前		2							1	
	医学英語Ⅱ	2後		2							1	
	英会話Ⅰ	2前		2							1	
	英会話Ⅱ	2後		2							1	
学 部 共 通 科 目 群	スポーツ健康科学 演習	1前	2								8	
	健康科学(スポー ツ社会学を含む)	1前		2							1	
	東洋思想史	1前		2							1	
	生化学	2前		2							1	
	健康管理学Ⅰ (未開講)	2前		2							1	
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1	
	チーム医療とコミュ ニケーション	2後	2			1		1	1		1	
	栄養学	2後		2							1	
	身体運動科学	2後		2							1	
	漢方医学概論	2後	2								1	
	統合医療概論	3前	2								3	
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造演習 (運動器)	1通	2								1	
	人体の構造Ⅰ(循 環・内臓)	1後	2								1	
	人体の構造Ⅱ(神 経系)	1前	2								1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	調 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	2								1
	臨床運動学	2前	1								1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	公衆衛生学	1後		2							1
	病理学	2前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	2								1
	内科学Ⅱ	2後	2								1
	救急処置法	3前		2							1
	脳神経外科学	2前	2								1
	整形外科学	2後	2								1
	小児科学(人間発達学)	2後	2			1					
	精神医学	2前	2								1
	精神医学各論	2後	2								1
	臨床心理学	2後	2								1
	老年医学	3前	1								1
	リハビリテーション医学	3前	1								1
	医療関係法規論	2前		2							1
	理学療法概論	2前		1							1
	芸術療法論	2前		1			1				
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	3後		2							1
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		2							1
	スポーツ医学	2前		2							1
	漢方医学各論	3前		2							1
	東洋医学概論Ⅰ	3後		1							1
	東洋医学概論Ⅱ	3後		1							1
	IPW論	3後	1			4	1	1	2		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目群	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	2								1
	臨床運動学	2前	1								1
	リハビリテーション概論	1前	1			1		1	1		1
	公衆衛生学	1後		2							1
	病理学	2前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	2								1
	内科学Ⅱ	2後	2								1
	救急処置法	3前		2							1
	脳神経外科学	2前	2								1
	整形外科学	2後	2								1
	小児科学(人間発達学)	2後	2			1					
	精神医学	2前	2								1
	精神医学各論	2後	2								1
	臨床心理学	2後	2								1
	老年医学	3前	1								1
	リハビリテーション医学	3前	1								1
	医療関係法規論(未開講)	2前		2							1
	理学療法概論	2前		1							1
	芸術療法論	2前		1		1			1		
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	3後		2							4
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		2							1
	スポーツ医学	2前		2							2
	漢方医学各論	3前		2							1
	東洋医学概論Ⅰ	3後		1							1
	東洋医学概論Ⅱ	3後		1							1
	IPW論	3後	1			5		3	1		5

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	基礎作業学	1前	2				1	1			
	作業科学入門	1前	2			1	1				
	作業療法概論	1後	2			1					
	作業療法評価学総論	1後	2			1	1				
	身体障害作業療法治療学	2前	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学	2後	1				1	1	1		
	発達障害作業療法治療学	2後	1			1			1		
	高次脳機能障害作業療法治療学	2前	1					1	1		
	日常生活活動学	1後	2			1					
	身体障害作業療法治療学総論	3前	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学総論	3前	2				1		1		
	老年期障害作業療法治療学総論	3前	2			1					
	発達障害作業療法治療学総論	3前	2			1					
	身体障害作業療法治療学各論	3後	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学各論	3後	2				1		1		
	老年障害作業療法治療学各論	3後	1			1					
	発達障害作業療法治療学各論	3後	1			1					
	義肢装具学	2後	1			1					
	作業療法特論Ⅰ	4後	1			4	1	1	2		
	作業療法特論Ⅱ	4後	1			4	1	1	2		
	身体障害作業療法治療学演習	3後		1		1		1	1		
	精神障害作業療法治療学演習	3後		1			1		1		
	老年期障害作業療法治療学演習	3後		1		1					
	発達障害作業療法治療学演習	3後		1		1					
	地域作業療法学	3前	2			1					
	生活環境論	3前	1			1					
	障害者地域生活支援論	3後	1			1					
	卒業研究Ⅰ	3通	2			4	1	1	2		
卒業研究Ⅱ(身体障害)	4通		2		1		1	1			
卒業研究Ⅱ(精神障害)	4通		2			1		1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学 科 専 門 科 目 群	基礎作業学	1前	2			1		2	1			
	作業科学入門	1前	2			2						
	作業療法概論	1後	2			1						
	作業療法評価学総論	1後	2			2						
	身体障害作業療法評価学	2前	2			1		2				
	精神障害作業療法評価学	2後	1			1		1				
	発達障害作業療法評価学	2後	1			1			1			
	高次脳機能障害作業療法評価学	2前	1					2				
	日常生活活動学	1後	2			1						
	身体障害作業療法治療学総論	3前	2			1		2				
	精神障害作業療法治療学総論	3前	2			1		1				
	老年期障害作業療法治療学総論	3前	2			1						
	発達障害作業療法治療学総論	3前	2			1			1			
	身体障害作業療法治療学各論	3後	2			1		2				
	精神障害作業療法治療学各論	3後	2			1		1				
	老年障害作業療法治療学各論	3後	1			1						
	発達障害作業療法治療学各論	3後	1			1			1			
	義肢装具学	2後	1			1						
	作業療法特論Ⅰ	4後	1			4	1	1	2			
	作業療法特論Ⅱ	4後	1			4	1	1	2			
	身体障害作業療法治療学演習	3後		1		1		2				
	精神障害作業療法治療学演習	3後		1		1		1				
	老年期障害作業療法治療学演習	3後		1		1						
	発達障害作業療法治療学演習	3後		1		1			1			
	地域作業療法学	3前	2			1						
	生活環境論	3前	1			1						
	障害者地域生活支援論	3後	1			1						
	卒業研究Ⅰ	3通	2			5		3	1			
卒業研究Ⅱ(身体障害)	4通		2		1		1	1				
卒業研究Ⅱ(精神障害)	4通		2			1		1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	卒業研究Ⅱ(老年 期障害・地域)	4通		2		2					
	卒業研究Ⅱ(発達 障害)	4通		2		1					
	臨地見学実習	1前	1			4	1	1	1		
	臨床検査実習	2後	2			4	1	1	1		
	臨床評価実習	3通	4			4	1	1	2		
	臨床総合実習	4前	16			4	1	1	2		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	卒業研究Ⅱ(老年 期障害・地域)	4通		2		2					
	卒業研究Ⅱ(発達 障害)	4通		2		1					
	臨地見学実習	1前	1			5		3	1		
	臨床検査実習	2後	2			5		3	1		
	臨床評価実習	3通	4			5		3	1		
	臨床総合実習	4前	16			4	1	1	2		

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目 群	基礎ゼミナール	1前	2			4	1	2	1		1
	物理学	1後		2							1
	生物学	1前		2							1
	情報処理	1前		2							1
	心理学	1前	2								1
	生命倫理学	1後	2								1
	哲学・宗教学	1後		2							1
	社会福祉学	1後	2								1
	日本国憲法	1後		2							1
	統計学	1後		2							1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	医学英語Ⅰ(未開講)	2前		2							2
	医学英語Ⅱ	2後		2							2
学 部 共 通 科 目 群	英会話Ⅰ	2前		2							2
	英会話Ⅱ	2後		2							1
	スポーツ健康科学 演習	1前	2								7
	健康科学(スポー ツ社会学を含む)	1前		2							1
	東洋思想史	1前		2							1
	生化学	2前		2							1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	チーム医療とコミュ ニケーション	2後	2			1		1			1
	栄養学	2後		2							1
学 科 専 門 科 目 群	身体運動科学	2後		2							1
	漢方医学概論	2後	2								1
	統合医療概論	3前	2								4
	人体の構造演習 (運動器)	1通	2								1
	人体の構造Ⅰ(循 環・内臓)	1後	2								1
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造Ⅱ(神 経系)	1前	2								1

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目 群	基礎ゼミナール	1前	2			3	1		1		3
	物理学	1後		2							1
	生物学	1前		2							1
	情報処理	1前		2							1
	心理学	1前	2								1
	生命倫理学	1後	2								1
	哲学・宗教学	1後		2							1
	社会福祉学	1後	2								1
	日本国憲法	1後		2							1
	統計学	1後		2							1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	医学英語Ⅰ	2前		2							2
	医学英語Ⅱ	2後		2							2
学 部 共 通 科 目 群	英会話Ⅰ	2前		2							2
	英会話Ⅱ	2後		2							2
	スポーツ健康科学 演習	1前	2								7
	健康科学(スポー ツ社会学を含む)	1前		2							1
	東洋思想史(未開講)	1前		2							1
	生化学	2前		2							1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	チーム医療とコミュ ニケーション	2後	2			1					1
	栄養学	2後		2							1
学 科 専 門 科 目 群	身体運動科学	2後		2							1
	漢方医学概論	2後	2								1
	統合医療概論	3前	2								4
	人体の構造演習 (運動器)	1通	2								1
	人体の構造Ⅰ(循 環・内臓)	1後	2								1
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造Ⅱ(神 経系)	1前	2								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	2								1
	臨床運動学	2前	1								1
	リハビリテーション概論	1前	1			1		1			
	公衆衛生学	1後		2							1
	病理学	2前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	2								1
	内科学Ⅱ	2後	2								1
	救急処置法	3前		2							1
	脳神経外科学	2前	2								1
	整形外科科学	2後	2								1
	小児科学(人間発達学)	2後	2			1					
	精神医学	2前	2								1
	精神医学各論	2後	2								1
	臨床心理学	2後	2								1
	老年医学	3前	1								1
	リハビリテーション医学	3前	1								1
	医療関係法規論	2前		2							1
	理学療法概論	2前		1							1
	芸術療法論	2前		1			1				
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	3後		2							1
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		2							1
	スポーツ医学	2前		2							1
	漢方医学各論	3前		2							1
	東洋医学概論Ⅰ	3後		1							1
	東洋医学概論Ⅱ	3後		1							1
	IPW論	3後	1			4	1	1	2		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	人体の構造実習	2後	1								
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	2								1
	臨床運動学	2前	1								1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	公衆衛生学	1後		2							1
	病理学	2前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	2								1
	内科学Ⅱ	2後	2								1
	救急処置法	3前		2							1
	脳神経外科学	2前	2								1
	整形外科科学	2後	2								1
	小児科学(人間発達学)	2後	2			1					
	精神医学	2前	2								1
	精神医学各論	2後	2								1
	臨床心理学	2後	2								1
	老年医学	3前	1								1
	リハビリテーション医学	3前	1								1
	医療関係法規論	2前		2							1
	理学療法概論	2前		1							1
	芸術療法論	2前		1			1				
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	3後		2							1
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		2							1
	スポーツ医学	2前		2							1
	漢方医学各論	3前		2							1
	東洋医学概論Ⅰ	3後		1							1
	東洋医学概論Ⅱ	3後		1							1
	IPW論	3後	1			4	1	1	2		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	基礎作業学	1前	2				1	2			
	作業科学入門	1前	2			1	1				
	作業療法概論	1後	2			1					
	作業療法評価学総論	1後	2			1	1				
	身体障害作業療法評価学	2前	2			1		1	1		
	精神障害作業療法評価学	2後	1				1	1			
	発達障害作業療法評価学	2後	1			1					
	高次脳機能障害作業療法評価学	2前	1					1	1		
	日常生活活動学	1後	2			1					
	身体障害作業療法治療学総論	3前	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学総論	3前	2				1		1		
	老年期障害作業療法治療学総論	3前	2			1					
	発達障害作業療法治療学総論	3前	2			1					
	身体障害作業療法治療学各論	3後	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学各論	3後	2				1		1		
	老年障害作業療法治療学各論	3後	1			1					
	発達障害作業療法治療学各論	3後	1			1					
	義肢装具学	2後	1			1					
	作業療法特論Ⅰ	4後	1			4	1	1	2		
	作業療法特論Ⅱ	4後	1			4	1	1	2		
	身体障害作業療法治療学演習	3後		1		1		1	1		
	精神障害作業療法治療学演習	3後		1			1		1		
	老年期障害作業療法治療学演習	3後		1		1					
	発達障害作業療法治療学演習	3後		1		1					
	地域作業療法学	3前	2			1					
	生活環境論	3前	1			1					
	障害者地域生活支援論	3後	1			1					
	卒業研究Ⅰ	3通	2			4	1	1	2		
卒業研究Ⅱ(身体障害)	4通		2		1		1	1			
卒業研究Ⅱ(精神障害)	4通		2			1		1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	基礎作業学	1前	2				1				1
	作業科学入門	1前	2			1	1				
	作業療法概論	1後	2								1
	作業療法評価学総論	1後	2			1	1				
	身体障害作業療法評価学	2前	2			1		1	1		
	精神障害作業療法評価学	2後	1				1	1	1		
	発達障害作業療法評価学	2後	1			1					
	高次脳機能障害作業療法評価学	2前	1					1	1		
	日常生活活動学	1後	2			1					
	身体障害作業療法治療学総論	3前	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学総論	3前	2				1		1		
	老年期障害作業療法治療学総論	3前	2			1					
	発達障害作業療法治療学総論	3前	2			1					
	身体障害作業療法治療学各論	3後	2			1		1	1		
	精神障害作業療法治療学各論	3後	2				1		1		
	老年障害作業療法治療学各論	3後	1			1					
	発達障害作業療法治療学各論	3後	1			1					
	義肢装具学	2後	1			1					
	作業療法特論Ⅰ	4後	1			4	1	1	2		
	作業療法特論Ⅱ	4後	1			4	1	1	2		
	身体障害作業療法治療学演習	3後		1		1		1	1		
	精神障害作業療法治療学演習	3後		1			1		1		
	老年期障害作業療法治療学演習	3後		1		1					
	発達障害作業療法治療学演習	3後		1		1					
	地域作業療法学	3前	2			1					
	生活環境論	3前	1			1					
	障害者地域生活支援論	3後	1			1					
	卒業研究Ⅰ	3通	2				4	1	1	2	
	卒業研究Ⅱ(身体障害)	4通		2			1		1	1	
	卒業研究Ⅱ(精神障害)	4通		2				1		1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	卒業研究Ⅱ(老年 期障害・地域)	4通		2		2					
	卒業研究Ⅱ(発達障害)	4通		2		1					
	臨地見学実習	1前	1			4	1	2	1		
	臨床検査実習	2後	2			4	1	2	1		
	臨床評価実習	3通	4			4	1	1	2		
	臨床総合実習	4前	16			4	1	1	2		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 専 門 科 目 群	卒業研究Ⅱ(老年 期障害・地域)	4通		2		2					
	卒業研究Ⅱ(発達障害)	4通		2		1					
	臨地見学実習	1前	1			3	1		1		2
	臨床検査実習	2後	2			4	1	1	1		
	臨床評価実習	3通	4			4	1	1	2		
	臨床総合実習	4前	16			4	1	1	2		

- (注) *
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・職位変更(29年度より常勤予定)および担当教員就任辞退のため「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を教授4から教授3、兼任・兼任を3、助教2を助教1に変更、講師1を削除
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ健康科学演習」の兼任・兼任3を兼任・兼任7に変更
- ・教育内容の充実を図るため「人体の構造Ⅰ(循環・内臓)」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・教育内容の充実を図るため「人体の構造Ⅱ(神経系)」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・職位変更(29年度より常勤予定)のため、「基礎作業学」の専任教員等の配置を講師1から兼任・兼任1に変更
- ・職位変更(29年度より常勤予定)のため、「作業療法概論」の専任教員等の配置を教授1から兼任・兼任1に変更
- ・職位変更(29年度より常勤予定)のため、「臨地見学実習」の専任教員等の配置を教授4から教授3、兼任・兼任を2に変更、講師1を削除

【平成29年度】

- ・教育内容の充実を図るため、「基礎ゼミナール」を講師1から講師2に変更
- ・受講者数を鑑み、「英会話Ⅱ」の兼任・兼任2を兼任・兼任1に変更
- ・教育内容の充実を図るため「チーム医療とコミュニケーション」を講師1に変更
- ・教育内容の充実を図るため「リハビリテーション概論」に講師1を追加
- ・教育内容の充実を図るため、「基礎作業学」を講師1から講師2に変更
- ・担当教員就任辞退のため「精神障害作業療法評価学」の助教1を削除
- ・申請時記載間違いのため、「発達障害作業療法評価学」の専任教員等の配置を修正
- ・教育内容の充実を図るため、「臨地見学実習」を講師1から講師2に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「臨床検査実習」を講師1から講師2に変更

【平成30年度】

- ・職位変更のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を教授4から教授5に変更、准教授1を削除
- ・教育内容の充実を図るため、「基礎ゼミナール」の講師2を講師3に変更
- ・受講者数を鑑み、「医学英語Ⅰ」の兼任・兼任2を兼任・兼任1に変更
- ・受講者数を鑑み、「医学英語Ⅱ」の兼任・兼任2を兼任・兼任1に変更
- ・受講者数を鑑み、「英会話Ⅰ」の兼任・兼任2を兼任・兼任1に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ健康科学演習」の兼任・兼任7を兼任・兼任8に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「チーム医療とコミュニケーション」に助教1を追加
- ・担当教員辞退のため、「統合医療概論」の兼任・兼任4を検認・兼任3に変更
- ・担当教員退職および教育内容の充実を図るため、「リハビリテーション概論」に助教1を追加
- ・教育内容の充実を図るため、「芸術療法論」に助教1を追加
- ・教育内容の充実を図るため、「言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学」の兼任・兼任1を兼任・兼任4に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ医学」の兼任・兼任1を兼任・兼任2に変更
- ・職位変更、担当教員就任辞退および教育内容の充実を図るため「LPW論」の教授4を教授5に、講師1を講師3に、助教2を助教1に変更、准教授1を削除
- ・職位変更および教育内容の充実を図るため、「基礎作業学」の准教授1を教授1に変更、助教1を追加
- ・職位変更のため、「作業科学入門」の准教授1を削除、教授2に変更
- ・職位変更のため、「作業療法評価学総論」の准教授1を削除、教授1を教授2に変更
- ・職位変更のため、「身体障害作業療法評価学」の講師1を講師2に変更、助教1を削除
- ・職位変更のため、「精神障害作業療法評価学」の准教授1を教授1に変更
- ・職位変更のため、「高次脳機能障害作業療法評価学」の講師1を講師2に変更、助教1を削除
- ・職位変更のため、「身体障害作業療法治療学総論」の講師1を講師2に変更、助教1を削除
- ・職位変更のため、「精神障害作業療法治療学総論」の准教授1を教授1に変更
- ・担当教員就任辞退のため、「精神障害作業療法治療学総論」に助教1を削除、講師1を追加
- ・教育内容の充実を図るため、「発達障害作業療法治療学総論」に助教1を追加
- ・職位変更のため「身体障害作業療法治療学各論」の助教1を講師2に変更
- ・職位変更のため、「精神障害作業療法治療学各論」の准教授1を教授1に変更
- ・担当教員就任辞退のため、「精神障害作業療法治療学各論」に助教1を削除、講師1を追加
- ・教育内容の充実を図るため、「発達障害作業療法治療学各論」に助教1を追加
- ・職位変更のため、「身体障害作業療法治療学演習」の助教1を削除、講師1を講師2に変更
- ・職位変更のため、「精神障害作業療法治療学演習」の准教授1を教授1に変更
- ・担当教員就任辞退のため、「精神障害作業療法治療学演習」に助教1を削除、講師1を追加
- ・教育内容の充実を図るため、「発達障害作業療法治療学演習」に助教1を追加
- ・職位変更、担当教員就任辞退および教育内容の充実を図るため、「卒業研究Ⅰ」の准教授1を削除、教授4を教授5に、講師1を講師3に、助教2を助教1に変更
- ・職位変更のため、「臨地見学実習」の准教授1を削除、教授4を教授5に、講師2を講師3に変更
- ・職位変更のため、「臨床検査実習」の准教授1を削除、教授4を教授5に、講師2を講師3に変更
- ・職位変更、担当教員就任辞退および教育内容の充実を図るため、「臨床評価実習」の准教授1を削除、教授4を教授5に、講師1を講師3に、助教2を助教1に変更

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
59 科目	36 科目	0 科目	95 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	森ノ宮キャンパスの土地用途変更のため(29) 校舎設置(30) 特例措置の認定により 運動場機能の代替措置 を講じる。特区No.828 (大阪市) 土地購入のため(29) 用途変更(30) 誤りがあったため修正 (30)		
	校 舎 敷 地	16,841.52 m ² 15,595.24 m ² 17,866.31 m ²	m ²	m ²	16,841.52 m ² 15,595.24 m ² 17,866.31 m ²			
	運動場用地	0 m ²	m ²	m ²	0 m ²			
	小 計	16,841.52 m ² 15,595.24 m ² 17,866.31 m ²	m ²	m ²	16,841.52 m ² 15,595.24 m ² 17,866.31 m ²			
	そ の 他	483.12 m ² 16,941.41 m ² 15070.34 m ²	m ²	m ²	483.12 m ² 16,941.41 m ² 15070.34 m ²			
	合 計	17,324.64 m ² 32,536.65 m ² 32936.65 m ²	m ²	m ²	17,324.64 m ² 32,536.65 m ² 32936.65 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	誤りがあったため修正 (29) 新校舎設置(30)			
	22,385.58 m ² (23492.99 m ²)	m ² () m ²	m ² () m ²	22,385.58 m ² (23492.99 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	用途変更(29) 用途変更(30)		
	43 41 40 室	17 14 室	37 室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		個人研究室4室4人 共同研究室1室5人		
	保健医療学部 作業療法学科			5 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数
	作業療法学科	32,800 [1100] (28,500 [1,680])	264 [44] (420 [55])	15 [8] (19 [9])	850 (870)	1716 (1593)	101 (305)	
	計	32,800 [1100] (28,500 [1,680])	264 [44] (420 [55])	15 [8] (19 [9])	850 (870)	1716 (1593)	101 (305)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1027.17m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1323.22m ²							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの 整備費(運用コストを 含む)を含む。 29年度入学生より納付金額変更のため、上段に28年度入学生、下段に29年度以降入学生の金額を記載(29)
	教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,111千円	880千円	1048千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	68,000千円	34,000千円	7,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 (128入学生)1,780千円 (129入学生)1,830千円	第2年次 1,530千円 1,580千円	第3年次 1,530千円 1,580千円	第4年次 1,530千円 1,580千円	第5年次 一 千円	第6年次 一 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(6)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学等の名称		森ノ宮医療大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次人	人		倍			
鍼灸学科	4	60	—	240	学士 (鍼灸学)	1.11	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
理学療法学科	4	70	—	280	学士 (理学療法)	1.12	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
看護学科	4	90	—	360	学士 (看護学)	1.09	平成23年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査)	1.20	平成28年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法)	1.27	平成28年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
臨床工学科	4	60	—	240	学士 (臨床工学)	1.16	平成30年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
大学院保健医療学研究科									
保健医療学専攻	2	6	—	12	修士 (保健医療学)	0.91	平成23年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
医療科学専攻	3	2	—	6	博士 (医療科学)	2.00	平成30年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は									
●●学科	2	100	—	200	短期大学士 (●●学)	1.00	平成3年度	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇…	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 作業療法学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
専	教授	横井 賀津志 <平成28年4月> 基礎ゼミナール チーム医療とコミュ ニケーション リハビリテーション 概論 IPW論 作業科学入門 作業療法評価学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 地域作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	伊藤(茂原) 直子 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 小児科学(人間発達 学) IPW論 作業療法概論 発達障害作業療法評 価学 発達障害作業療法治 療学総論 発達障害作業療法治 療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治 療学演習 障害者地域生活支援 論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障 害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	松下 太 <平成28年4月> 基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評 価学 老年期障害作業療法 治療学総論 老年期障害作業療法 治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 老年期障害作業療法 治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
専	教授	横井 賀津志 <平成28年4月> 基礎ゼミナール チーム医療とコミュ ニケーション リハビリテーション 概論 IPW論 作業科学入門 作業療法評価学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 地域作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	伊藤(茂原) 直子 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 小児科学(人間発達 学) IPW論 作業療法概論 発達障害作業療法評 価学 発達障害作業療法治 療学総論 発達障害作業療法治 療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治 療学演習 障害者地域生活支援 論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障 害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	松下 太 <平成28年4月> 基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評 価学 老年期障害作業療法 治療学総論 老年期障害作業療法 治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 老年期障害作業療法 治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
専	教授	横井 賀津志 <平成28年4月> 基礎ゼミナール チーム医療とコミュ ニケーション リハビリテーション 概論 IPW論 作業科学入門 作業療法評価学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 地域作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	伊藤(茂原) 直子 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 小児科学(人間発達 学) IPW論 作業療法概論 発達障害作業療法評 価学 発達障害作業療法治 療学総論 発達障害作業療法治 療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治 療学演習 障害者地域生活支援 論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障 害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	松下 太 <平成28年4月> 基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評 価学 老年期障害作業療法 治療学総論 老年期障害作業療法 治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 老年期障害作業療法 治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
専	教授	横井 賀津志 <平成28年4月> 基礎ゼミナール チーム医療とコミュ ニケーション リハビリテーション 概論 IPW論 作業科学入門 作業療法評価学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 地域作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	伊藤(茂原) 直子 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 小児科学(人間発達 学) IPW論 作業療法概論 発達障害作業療法評 価学 発達障害作業療法治 療学総論 発達障害作業療法治 療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治 療学演習 障害者地域生活支援 論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障 害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	松下 太 <平成28年4月> 基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評 価学 老年期障害作業療法 治療学総論 老年期障害作業療法 治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 老年期障害作業療法 治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(老年期 障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専 助教		中西 一 [REDACTED] <平成28年4月>
		基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評価学 高次脳機能障害作業療法評価学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専 助教		中西 一 [REDACTED] <平成28年4月>
		基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評価学 高次脳機能障害作業療法評価学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
		早川 智美 [REDACTED] <平成29年4月>
専 講師		基礎ゼミナール チーム医療とコミュニケーション 基礎作業学 リハビリテーション概論 精神障害作業療法評価学 臨地見学実習 臨床検査実習
専 助教		中西 一 [REDACTED] <平成28年4月>
		基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評価学 高次脳機能障害作業療法評価学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専 講師		木納 潤一 [REDACTED] <平成30年4月>
		基礎ゼミナール リハビリテーション概論 チーム医療とコミュニケーション IPW論 基礎作業学 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習
専 講師		中西 一 [REDACTED] <平成28年4月>
		基礎ゼミナール IPW論 身体障害作業療法評価学 高次脳機能障害作業療法評価学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	芳賀 大輔 ＜平成29年4月＞ 基礎ゼミナール IPW論 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ（精神障害） 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
兼任	講師	伊藤（茂原）直子 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 作業療法概論 臨地見学実習
兼任	講師	中村 めぐみ ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 基礎作業学 臨地見学実習
兼任	講師	芳賀 大輔 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 臨地見学実習
兼任	教授 (学科長)	金尾 顕郎 ＜平成28年4月＞ チーム医療とコミュニケーション 理学療法概論 IPW論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	芳賀 大輔 ＜平成29年4月＞ 基礎ゼミナール IPW論 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ（精神障害） 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習 臨床総合実習
兼任	講師	伊藤（茂原）直子 ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 作業療法概論 臨地見学実習
兼任	講師	中村 めぐみ ＜平成28年4月＞ 基礎ゼミナール 基礎作業学 臨地見学実習
兼任	教授 (学科長)	金尾 顕郎 ＜平成28年4月＞ チーム医療とコミュニケーション 理学療法概論 IPW論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授 (学科長)	金尾 顕郎 ＜平成28年4月＞ チーム医療とコミュニケーション 理学療法概論 IPW論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	金森 幸 ＜平成30年4月＞ 基礎ゼミナール チーム医療とコミュニケーション リハビリテーション 概論 IPW論 発達障害作業療法治療学総論 基礎作業学 芸術療法論 小児科学（人間発達学） 発達障害作業療法評価学 発達障害作業療法治療学各論 発達障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 臨地見学実習 臨床検査実習 臨床評価実習
兼任	教授	金尾 顕郎 ＜平成28年4月＞ チーム医療とコミュニケーション 理学療法概論 リハビリテーション 概論 IPW論 言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名
兼任	教授 (学部長)	青木 元邦 <平成28年4月> 内科学Ⅰ 内科学Ⅱ
兼任	教授	山下 仁 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	井手口 範男 <平成28年4月> 情報処理 心理学 統計学 臨床心理学
兼任	教授	宮本(盛尾) 忠吉 <平成28年4月> スポーツ健康科学演習
兼任	教授	中田 敬吾 <平成28年4月> 漢方医学概論 漢方医学各論
兼任	教授	鍋田 智之 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	北村 清一郎 <平成28年4月> 人体の構造演習(運動器)
兼任	教授	森谷 正之 <平成28年4月> 人体の構造Ⅰ(循環・内臓) 人体の構造Ⅱ(神経系)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名
兼任	教授 (学部長)	青木 元邦 <平成28年4月> 内科学Ⅰ 内科学Ⅱ
兼任	教授	山下 仁 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	井手口 範男 <平成28年4月> 情報処理 心理学 統計学 臨床心理学
兼任	教授	宮本(盛尾) 忠吉 <平成28年4月> スポーツ健康科学演習
兼任	教授	中田 敬吾 <平成28年4月> 漢方医学概論 漢方医学各論
兼任	教授	鍋田 智之 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	北村 清一郎 <平成28年4月> 人体の構造演習(運動器)
兼任	教授	森谷 正之 <平成28年4月> 人体の構造Ⅰ(循環・内臓) 人体の構造Ⅱ(神経系)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名
兼任	教授 (学部長)	青木 元邦 <平成28年4月> 内科学Ⅰ 内科学Ⅱ
兼任	教授	山下 仁 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	井手口 範男 <平成28年4月> 情報処理 心理学 統計学
兼任	教授	宮本(盛尾) 忠吉 <平成28年4月> スポーツ健康科学演習
兼任	教授	中田 敬吾 <平成28年4月> 漢方医学各論
兼任	教授	鍋田 智之 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	北村 清一郎 <平成28年4月> 人体の構造演習(運動器)
兼任	教授	森谷 正之 <平成28年4月> 人体の構造Ⅰ(循環・内臓) 人体の構造Ⅱ(神経系)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名
		堀 竜次 <平成30年4月>
兼任	教授	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	教授 (学部長)	青木 元邦 <平成28年4月> 内科学Ⅰ 内科学Ⅱ
兼任	教授	山下 仁 <平成28年4月> 統合医療概論
兼任	教授	井手口 範男 <平成28年4月> 心理学 統計学
兼任	教授	宮本(盛尾) 忠吉 <平成28年4月> スポーツ健康科学演習
兼任	教授	鍋田 智之 <平成28年4月> IPW論
兼任	教授	北村 清一郎 <平成28年4月> 人体の構造演習(運動器)
兼任	教授	森谷 正之 <平成28年4月> 人体の構造Ⅰ(循環・内臓) 人体の構造Ⅱ(神経系)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	川畑 浩久 ＜平成28年4月＞
		人体の構造実習
兼任	教授	永瀬 佳孝 ＜平成28年4月＞
		人体の機能Ⅰ（動物性機能） 人体の機能Ⅱ（植物性機能）
兼任	教授	前川 佳敬 ＜平成28年4月＞
		公衆衛生学 老年医学
兼任	教授	野坂 修一 ＜平成28年4月＞
		救急処置法
兼任	教授	上田 喜敏 ＜平成28年4月＞
		介護学概論・ボランティア活動論
兼任	准教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞
		生物学 病理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	川畑 浩久 ＜平成28年4月＞
		人体の構造実習
兼任	教授	前川 佳敬 ＜平成28年4月＞
		公衆衛生学 老年医学
兼任	教授	野坂 修一 ＜平成28年4月＞
		救急処置法
兼任	教授	上田 喜敏 ＜平成28年4月＞
		介護学概論・ボランティア活動論
兼任	教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞
		生物学 病理学 人体の機能Ⅰ（動物性機能） 人体の機能Ⅱ（植物性機能）

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	川畑 浩久 ＜平成28年4月＞
		人体の構造実習
兼任	教授	前川 佳敬 ＜平成28年4月＞
		老年医学
兼任	教授	野坂 修一 ＜平成28年4月＞
		救急処置法
兼任	教授	上田 喜敏 ＜平成28年4月＞
		介護学概論・ボランティア活動論
兼任	教授	五十嵐淳介 ＜平成29年4月＞
		人体の機能Ⅰ（動物性機能） 人体の機能Ⅱ（植物性機能）
兼任	教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞
		生物学 病理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	川畑 浩久 ＜平成28年4月＞
		人体の構造実習 スポーツ医学
兼任	教授	前川 佳敬 ＜平成28年4月＞
		老年医学
兼任	教授	上田 喜敏 ＜平成28年4月＞
		介護学概論・ボランティア活動論
兼任	教授	吉岡 敏治 ＜平成29年4月＞
		救急処置法 スポーツ医学
兼任	教授	五十嵐淳介 ＜平成29年4月＞
		人体の機能Ⅰ（動物性機能） 人体の機能Ⅱ（植物性機能）
兼任	教授	安部 辰夫 ＜平成28年4月＞
		生物学 病理学
兼任	教授	村上 生美 ＜平成30年4月＞
		IPW論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	榊井 靖之 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 生命倫理学 哲学・宗教学 東洋思想史
兼任	准教授	藤重（中嶋）仁子 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	准教授	中原 英博 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	准教授	前田 薫 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 統合医療概論 リハビリテーション医学
兼任	准教授	森美侑紀（広子） 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 統合医療概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	梶井 靖之 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 生命倫理学 哲学・宗教学 東洋思想史
兼任	准教授	藤重（中嶋）仁子 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	准教授	中原 英博 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	准教授	前田 薫 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 統合医療概論 リハビリテーション医学
兼任	准教授	森美侑紀（広子） 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 統合医療概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	藤重（中嶋）仁子 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	准教授	中原 英博 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ スポーツ健康科学演習
兼任	准教授	前田 薫 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 統合医療概論 リハビリテーション医学
兼任	准教授	森美侑紀（広子） 〇〇〇〇 ＜平成28年4月＞ 統合医療概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	■ 英彦 ＜平成30年4月＞
		IPW論
兼任	教授	三木 ■ 宏文 ＜平成30年4月＞
		脳神経外科学
兼任	准教授	増山 ■ 祥子 ＜平成30年4月＞
		統合医療概論
兼任	准教授	中根 ■ 征也 ＜平成30年4月＞
		IPW論
兼任	教授	藤重（中嶋）仁子 ■ ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅰ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	教授	中原 ■ 英博 ＜平成28年4月＞
		スポーツ健康科学演習
兼任	准教授	前田 ■ 薫 ＜平成28年4月＞
		リハビリテーション医学
兼任	教授	森美侑紀（広子） ■ ＜平成28年4月＞
		統合医療概論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	上田 真也 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	上田 真也 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	上田 真也 ＜平成28年4月＞	兼任	准教授	横山 浩之 ＜平成30年4月＞ 東洋医学概論Ⅰ 東洋医学概論Ⅱ
		スポーツ健康科学演習 健康科学（スポーツ 社会学を含む）			スポーツ健康科学演習 健康科学（スポーツ 社会学を含む）			スポーツ健康科学演習 健康科学（スポーツ 社会学を含む）			
兼任	講師	伊黒 浩二 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	伊黒 浩二 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	伊黒 浩二 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	伊黒 浩二 ＜平成28年4月＞ 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ
		健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ			健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ			健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ			
兼任	講師	保坂 政嘉 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	保坂 政嘉 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	保坂 政嘉 ＜平成28年4月＞			
		東洋医学概論Ⅰ 東洋医学概論Ⅱ			東洋医学概論Ⅰ 東洋医学概論Ⅱ			東洋医学概論Ⅰ 東洋医学概論Ⅱ			
						兼任	助教	長尾 晋宏 ＜平成29年4月＞ 英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ	兼任	助教	長尾 晋宏 ＜平成29年4月＞ 英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅱ
兼任	講師	山本 淳 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	山本 淳 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	山本 淳 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	佐野 加奈絵 ＜平成30年4月＞ スポーツ健康科学演習 健康科学（スポーツ 社会学を含む）
		基礎ゼミナール			基礎ゼミナール			基礎ゼミナール			
兼任	講師	久国 正章 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	久国 正章 ＜平成28年4月＞	兼任	講師	久国 正章 ＜平成28年4月＞	兼任	助教	伊奈 新太郎 ＜平成30年4月＞ スポーツ健康科学演習
		物理学			物理学			物理学			

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 幸裕 ＜平成28年4月＞
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 ＜平成28年4月＞
		日本国憲法
兼任	講師	佐藤 浩子 ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級） 医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	西崎 大祐 ＜平成28年4月＞
		生化学 栄養学
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成28年4月＞
		身体運動科学
兼任	講師	山下 協子 ＜平成28年4月＞
		基礎運動学 臨床運動学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	志賀 信夫 ＜平成28年4月＞
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 ＜平成28年4月＞
		日本国憲法
兼任	講師	佐藤 浩子 ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ（初級） 英語Ⅱ（中級）
兼任	講師	西崎 大祐 ＜平成28年4月＞
		生化学 栄養学
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成28年4月＞
		身体運動科学
兼任	講師	山下 協子 ＜平成28年4月＞
		基礎運動学 臨床運動学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	志賀 信夫 ＜平成28年4月＞
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 ＜平成28年4月＞
		日本国憲法
兼任	講師	竹内 恵子 ＜平成29年4月＞
		英会話Ⅰ
兼任	講師	西崎 大祐 ＜平成28年4月＞
		生化学 栄養学
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成28年4月＞
		身体運動科学
兼任	講師	山下 協子 ＜平成28年4月＞
		基礎運動学 臨床運動学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	掛川 直之 ＜平成30年4月＞
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 ＜平成28年4月＞
		日本国憲法
兼任	講師	西崎 大祐 ＜平成28年4月＞
		生化学 栄養学
兼任	講師	外林 大輔 ＜平成28年4月＞
		身体運動科学
兼任	講師	山下 協子 ＜平成28年4月＞
		基礎運動学 臨床運動学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	安井 敏裕 ＜平成28年4月＞
		脳神経外科学
兼任	講師	宮田 重樹 ＜平成28年4月＞
		整形外科学
兼任	講師	石井 淳一 ＜平成28年4月＞
		精神医学 精神医学各論
兼任	講師	李 庸吉 ＜平成28年4月＞
		医療関係法規論
兼任	講師	田上 恵美子 ＜平成28年4月＞
		言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	講師	國重 昌彦 ＜平成28年4月＞
		スポーツ医学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	安井 敏裕 ＜平成28年4月＞
		脳神経外科学
兼任	講師	宮田 重樹 ＜平成28年4月＞
		整形外科学
兼任	講師	石井 淳一 ＜平成28年4月＞
		精神医学 精神医学各論
兼任	講師	李 庸吉 ＜平成28年4月＞
		医療関係法規論
兼任	講師	田上 恵美子 ＜平成28年4月＞
		言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	講師	國重 昌彦 ＜平成28年4月＞
		スポーツ医学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	安井 敏裕 ＜平成28年4月＞
		脳神経外科学
兼任	講師	宮田 重樹 ＜平成28年4月＞
		整形外科学
兼任	講師	西川 隆 ＜平成29年4月＞
		精神医学 精神医学各論
兼任	講師	李 庸吉 ＜平成28年4月＞
		医療関係法規論
兼任	講師	田上 恵美子 ＜平成28年4月＞
		言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	講師	國重 昌彦 ＜平成28年4月＞
		スポーツ医学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	宮田 重樹 ＜平成28年4月＞
		整形外科学
兼任	講師	西川 隆 ＜平成29年4月＞
		精神医学 精神医学各論
兼任	講師	李 庸吉 ＜平成28年4月＞
		医療関係法規論
兼任	講師	田上 恵美子 ＜平成28年4月＞
		言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	講師	渋谷 静英 ＜平成30年4月＞
		言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	講師	戸名(井下)久美子 ＜平成30年4月＞
		言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
兼任	講師	國重 昌彦 ＜平成28年4月＞
		スポーツ医学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月 ＞	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月 ＞	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月 ＞	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月 ＞		
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
								日高 明 ＜平成29年4月＞			日高 明 ＜平成29年4月＞		
						兼任	講師	生命倫理学			兼任	講師	生命倫理学
								松枝 啓至 ＜平成29年4月＞					松枝 啓至 ＜平成29年4月＞
						兼任	講師	哲学・宗教学			兼任	講師	哲学・宗教学
								重信 あゆみ ＜平成29年4月＞					重信 あゆみ ＜平成29年4月＞
						兼任	講師	東洋思想史			兼任	講師	東洋思想史
								伊藤 剛 ＜平成29年4月＞					伊藤 剛 ＜平成28年4月＞
						兼任	講師	スポーツ健康科学演習			兼任	講師	スポーツ健康科学演習
											兼任	講師	山口 晏奈 ＜平成30年4月＞ スポーツ健康科学演習
											兼任	講師	平山 裕子 ＜平成30年4月＞ 情報処理

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・芳賀大輔講師(兼任)が就任辞退。複数の教員が担当する科目のため問題なし。
- ・安部辰夫准教授(兼任)が教授(兼任)に職位変更。
- ・永瀬佳孝教授(兼任)退職のため、安部辰夫教授(兼任)に変更。
- ・高橋幸裕講師(兼任)辞退のため、志賀恒夫講師(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、吉田美智子講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、折田真弓講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、濱口幹太講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、辻田佳保里講師(兼任)を追加。

【平成29年度】

- ・伊藤直子講師(兼任)が教授(専任)に職位変更。
- ・中村めぐみ講師(兼任)が講師(専任)に職位変更。
- ・教員都合により芳賀大輔助教が就任辞退のため、早川智美講師(専任)が就任。
- ・中田敬吾講師(兼任)退職のため、生島忍講師(兼任)に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、安部辰夫教授(兼任)から五十嵐淳介教授(兼任)に変更。
- ・榊井靖之准教授(兼任)退職のため、日高明講師(兼任)に変更。
- ・榊井靖之准教授(兼任)退職のため、松枝啓至講師(兼任)に変更。
- ・榊井靖之准教授(兼任)退職のため、重信あゆみ講師(兼任)に変更。
- ・藤重(中嶋)仁子准教授(兼任)が教授(兼任)に職位変更。
- ・佐藤浩子講師(兼任)辞退のため、長尾晋宏助教(兼任)に変更。
- ・佐藤浩子講師(兼任)辞退のため、竹内恵子講師(兼任)に変更。
- ・石井淳一講師(兼任)辞退のため、西川隆講師(兼任)に変更。
- ・吉田美智子講師(兼任)辞退のため、伊藤剛講師(兼任)に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、井手口範男教授(兼任)から小澤裕子講師(兼任)に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、前川佳敬教授(兼任)から加藤礼識講師(兼任)に変更。

【平成30年度】

- ・早川智美講師(専任)が退職のため、木納渚一講師(専任)が就任。
- ・教育内容の充実を図るため、金森幸助教(専任)が就任。
- ・学科長が金尾顯郎教授(兼任)から小林貴代教授(専任)に変更。
- ・橋本弘子准教授(専任)が教授(専任)に職位変更。
- ・中西一助教(専任)が講師(専任)に職位変更。
- ・中田敬吾講師(兼任)退職のため、高屋豊講師(兼任)に変更。
- ・野坂修一教授(兼任)退職のため、吉岡敏治教授(兼任)に変更。
- ・田上恵美子講師(兼任)辞退のため、堀電次教授(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、渋谷静江講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、戸名(井下)久美子講師(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、金尾顯郎教授(兼任)を追加。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、鍋田智之教授(兼任)から増山祥子准教授(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、鍋田智之教授(兼任)を追加。
- ・國重昌彦講師(兼任)辞退のため、川畑浩之教授(兼任)に変更。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、吉岡敏治教授(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、村上生美教授(兼任)を追加。
- ・教育内容の充実を図るため、脇英彦教授(兼任)を追加。
- ・森美信紀(広子)准教授(兼任)が教授(兼任)に職位変更。
- ・安井敏裕講師(兼任)辞退のため、三木宏文教授(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、中根征也准教授(兼任)を追加。
- ・中原英博准教授(兼任)が教授(兼任)に職位変更。
- ・保坂政嘉講師(兼任)辞退のため、横山浩之准教授(兼任)に変更。
- ・上田真也講師(兼任)退職のため、佐野加奈絵講師(兼任)に変更。
- ・前年度の開講実績を鑑み、長尾晋宏講師(兼任)の科目を一部削除。
- ・辻田佳保里講師(兼任)辞退のため、佐野加奈絵講師(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、伊奈新太郎助教(兼任)を追加。
- ・志賀恒夫講師(兼任)辞退のため、掛川直之講師(兼任)に変更。
- ・前年度の開講実績を鑑み、竹内恵子講師(兼任)を担当なしに変更。
- ・小澤裕子講師(兼任)辞退のため、神澤創講師(兼任)に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、山口墨奈講師(兼任)を追加。
- ・科目担当者の専門性を考慮し、より教育を充実させるため、井手口範男教授(兼任)から平山裕子講師(兼任)に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
4	1	1	2	8	5	0	3	1	9	5	0	3	1	9
(3)	(1)	(0)	(1)	(6)						[1]	[Δ1]	[2]	[Δ1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上 記(B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。
 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{8} = 112.5 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{1}{9} = 11.11 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	助教	芳賀 大輔	必修	基礎ゼミナール	①	勤務先都合のため(28)				
			必修	IPW論	①					
			必修	精神障害作業療法評価学	①					
			必修	精神障害作業療法治療学総論	①					
			必修	精神障害作業療法治療学各論	①					
			必修	作業療法特論Ⅰ	①					
			必修	作業療法特論Ⅱ	①					
			必修	精神障害作業療法治療学演習	①					
			必修	卒業研究Ⅰ	①					
			必修	卒業研究Ⅱ（精神障害）	①					
			必修	臨地見学実習	①					
			必修	臨床検査実習	①					
			必修	臨床評価実習	①					
			必修	臨床総合実習	①					
2										
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	14	科目	必修	14 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	14	科目	計	14 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) *
- 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	早川 智美	必修	基礎ゼミナール	①	H30.3.31付 一身上の都合により(29)			
			必修	IPW論	①				
			必修	精神障害作業療法評価学	①				
			必修	精神障害作業療法治療学総論	①				
			必修	精神障害作業療法治療学各論	①				
			必修	作業療法特論Ⅰ	①				
			必修	作業療法特論Ⅱ	①				
			必修	精神障害作業療法治療学演習	①				
			必修	チーム医療とコミュニケーション	①				
			必修	基礎作業学	①				
			必修	リハビリテーション概論	①				
			必修	卒業研究Ⅰ	①				
			必修	卒業研究Ⅱ（精神障害）	①				
			必修	臨地見学実習	①				
			必修	臨床検査実習	①				
			必修	臨床評価実習	①				
			必修	臨床総合実習	①				
2									
合 計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	17 科目	必修	17 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) *
- 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	31 科目	必修	31 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	31 科目	計	31 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1										
2										
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員による後任補充が可能のため、学生への影響は無いと考える。
また、学生へは開講前の変更であったためシラバスにて周知した。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (2 7 年 9 月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	本学の定年規程では、新学科の教員について完成年度末までの在籍を認めているため、定年年齢に達した教員を完成年度まで在籍させることとする。（平成28年度）	未履行	完成年度までは定年年齢を超える教員も在籍させるが、完成年度以降は必要に応じて再雇用で教員の在籍を継続し、教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、適宜後任を補充していく。また、教員の年代・職位別配置計画を策定するとともに、若手教員についてはプロジェクトの積極的採用や学位取得のサポート等で育成をはかっていく。
設置計画履行状況 調 査 時 (2 9 年 2 月) 作業療法学科	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	本学の定年規程では、新学科の教員について完成年度末までの在籍を認めているため、定年年齢に達した教員を完成年度まで在籍させることとする。（平成29年度）	未履行	完成年度までは定年年齢を超える教員も在籍させるが、完成年度以降は必要に応じて再雇用で教員の在籍を継続し、教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、適宜後任を補充していく。また、教員の年代・職位別配置計画を策定するとともに、若手教員についてはプロジェクトの積極的採用や学位取得のサポート等で育成をはかっていく。
設置計画履行状況 調 査 時 (2 9 年 2 月) 臨床検査学科	保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	本学の定年規程では、新学科の教員について完成年度末までの在籍を認めているため、定年年齢に達した教員を完成年度まで在籍させることとする。（平成29年度）	未履行	完成年度までは定年年齢を超える教員も在籍させるが、完成年度以降は必要に応じて再雇用で教員の在籍を継続し、教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、適宜後任を補充していく。また、教員の年代・職位別配置計画を策定するとともに、若手教員についてはプロジェクトの積極的採用や学位取得のサポート等で育成をはかっていく。
設置計画履行状況 調 査 時 (3 0 年 2 月) 作業療法学科	【該当なし】				

設置計画履行状況 調査時 (30年2月) 臨床検査学科	保健医療学部臨床検査 学科において、定年規 程に定める退職年齢を 超える専任教員の割合 が高いことから、定年 規定の趣旨を踏まえた 適切な運用に努めると ともに、教員組織編成 の将来構想について検 討すること。	改善意見	本学の定年規程では、新 学科の教員について完成 年度末までの在籍を認めてい るため、定年年齢に達した 教員を完成年度まで在籍さ せることとする。 平成30年4月1日付で学科 長を定年年齢に達していな い教員に交替し、若手教員1 名を助教から講師に職位変 更した。(平成30年度)	未履行	完成年度までは定年年齢を 超える教員も在籍させる が、完成年度以降は必要に 応じて再雇用で教員の在籍 を継続し、教育研究水準に 支障をきたさず世代交代が 円滑に行われるよう、適宜 後任を補充していく。ま た、教員の年代・職位別配 置計画を策定するととも に、若手教員についてはプ ロジェクトの積極的採用や 学位取得のサポート等で育 成をはかっていく。
--------------------------------------	--	------	---	-----	--

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画に関する変更は特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

自己点検評価・FSD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度において12回実施した。

委員として法人本部長・研究科長・学部長・学科長もしくは代行できる者・共通教育部門より選出された者・学術研究委員会より選出された者・事務局長および事務局長を代行できる者・大学事務局各室長・総務室員・学長の指名する者で組織している。また理事長・学長が陪席している。

c 委員会の審議事項等

- ・平成28年度委員会事業報告（案）について
- ・森ノ宮医療大学ベストティーチャー賞実施要項について
- ・平成29年度前期授業アンケート・公開授業実施案について
- ・授業アンケート、公開授業アンケート用紙の改定について
- ・大学機関別認証評価における評価基準について
- ・平成28年度自己点検報告書作成について
- ・平成29年度前期授業アンケート回答状況について
- ・SDセミナー開催について
- ・授業アンケート実施科目について（臨床実習等）
- ・シラバスのチェック方法について
- ・平成29年度エビデンス集・データ編の進捗状況について
- ・自己点検評価書の進捗状況について
- ・平成29年度後期授業アンケートについて
- ・臨床実習科目のアンケート用紙について
- ・平成30年度 自己点検評価・FSD委員会 事業計画案について
- ・リフレクションペーパーについて
- ・授業アンケート結果学内公表資料について
- ・授業アンケート結果報告会資料（案）について

② 実施状況

a 実施内容

（平成29年度の実施内容）

- ・平成29年度自己点検評価書作成、および公開
- ・平成29年度自己点検に係るエビデンス集・データ編および公開の実施
- ・学内FSDセミナーの開催
- ・平成29年度授業評価アンケート・公開授業週間の実施
- ・大学院自己点検評価・FSD委員会の設置
- ・学外研修会・セミナー等の案内 等

b 実施方法

- ・教員全体に向けた授業評価アンケート結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体の公開授業週間のアンケート，その結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体に向けた学内FSDセミナーを開催 等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成29年度の授業評アンケートは、
 - 前期（平成29年7月頃）に全学科・全学年延べ 74件（作業療法学科 8件）
 - 後期（平成29年12月頃）に全学科・全学年延べ 61件（作業療法学科 11件）実施した。
- ・平成29年度の公開授業週間は、
 - 前期（平成29年7月）に実施し，公開授業科目数 71科目，授業参観教職員数が延べ 366名、
 - 後期（平成29年12月）に実施し，公開授業科目数 61科目，授業参観教職員数が延べ 484名参加した。
- ・FSDセミナーとして
 - 平成29年4月20日「平成28年度後期リフレクションペーパー分析結果フィードバック会」 79名参加
 - 平成29年11月16日「平成29年度 研究コンプライアンス研修会」 109名参加 （後日DVD受講者45名）
 - 平成30年2月13日「デザインの考え方を活用した“伝え方”入門」 51名参加
 - 平成30年3月8日「セクシャルハラスメントとは」 85名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員が授業評価アンケート結果を受けた授業改善のための対策を「リフレクションペーパー」としてまとめ、学長に提出し、チェックを受ける仕組みを構築している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年度においては前期（平成29年7月）、後期（平成29年12月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況，方法等

学生に対しては掲示板において授業アンケートの結果と教員側からのコメントをまとめたリフレクションペーパーの結果の公表を実施している。教職員に対しては授業アンケートの結果とリフレクションペーパーの一覧をフィードバック会で配布する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨を活かせるよう、学生募集と作業療法学科開設の告知に努め、平成30年度においては入学者53名を受け入れ、設置計画どおり、教育研究は順調に推移実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成32年5月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成32年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成30年6月1日)

（注）・「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。